

## 三菱ケミカル、シャープ、NICT、TECHLABがモビリティ向け 超小型軽量衛星通信端末の共同開発に合意

ドローンや自動車などへの搭載を視野に小型・軽量化を追求  
山地や被災地などのセルラー通信が困難な場所における高速大容量通信を実現

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：筑本 学、以下、三菱ケミカル）は、シャープ株式会社（本社：大阪府堺市、CEO：沖津 雅浩、以下、シャープ）、国立研究開発法人情報通信研究機構（本部：東京都小金井市、理事長：徳田 英幸、以下、NICT（エヌアイシーティー）、株式会社テックラボ（本社：東京都多摩市、代表取締役：畠山 裕史、以下、TECHLAB）と共同で、モビリティ向けの超小型かつ軽量のLEO衛星通信端末を開発することで合意しました。ドローンや自動車などへの搭載に向け、早期の実用化を目指します。



LEO衛星通信は、山間部や海上、離島など、セルラー通信が困難な場所においても、高品質な高速大容量通信を可能とします。今般の合意により、各社共同で、超小型・軽量のLEO衛星通信ユーザー端末の開発に着手します。三菱ケミカルが開発する熱伝導率が高く軽量の炭素繊維／グラファイトシート複合材料、TECHLABが開発する放熱構造に優れた設計製造技術などにより、シャープが現在開発中の端末の約1/10（約20cm×20cm×3cm・1kg）以下の超小型・軽量化を目指します。ドローンや自動車など、多様なモビリティへの搭載を実現することで、山地や災害時における被災地の通信回線確保や位置情報のリアルタイム送信、自動運転車への利用など、LEO衛星通信の活用シーンを大きく広げてまいります。

本取り組みは、7月30日（水）から8月1日（金）まで、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される「第2回 SPEXA-[国際]宇宙ビジネス展-」のブース（南展示館棟 衛星データ・宇宙空間活用エリア S7-11）、およびシャープのブース（同、S6-34）で展示します。

### ■各社の役割

|         |  |
|---------|--|
| シャープ    | スマートフォンの設計で培った小型・軽量化技術、通信技術を活かしたLEO衛星通信端末の開発 |
| 三菱ケミカル  | 排熱プレートに用いる軽量・高熱伝導率な新しい複合材料の開発                |
| NICT    | 排熱構造を含めた超小型・軽量化のためのアンテナ全体設計・シミュレーション         |
| TECHLAB | 新素材の部材成形・加工                                  |

お問合せ先  
三菱ケミカル株式会社  
コーポレートコミュニケーション部 メディアリレーショングループ  
TEL：03-6748-7140